FERRIS UNIVERSITY

2026 年度 海外語学実習（スペイン語） 参加レポート

グローバル教養学部 心理コミュニケーション学科 2 年

研修に参加した理由や目的

私はスペイン語力を実用レベルまで高めるとともに、現地の歴史や文化、価値観を肌で感じるためにスペインへの短期留学を志望しました。中でもサラマンカ大学はスペイン語を学ぶ環境に恵まれていることに加え、留学生向けの交流活動も充実しており、現地の人々や多様な学生との交流を通して異文化理解を深められる点に魅力を感じました。また、留学を通して自分自身の固定観念を見直し、柔軟な思考力と課題解決力を身につけたいと思い、この研修を志望しました。

研修を通じて経験したこと・気づいたこと・学んだこと

この研修を通して、言葉が完璧でなくても、伝えようとする姿勢が大切だということを学びました。研修中はスペイン語が十分に話すことができず、身振り手振りや簡単なスペイン語を使いながら何とか意思を伝えていました。最初は緊張しましたが、相手は私が話し終わるまで待ってくれることが多く、焦らずゆっくり話せばよいのだと気づきました。

また、ホストファミリーとの挨拶でハグや頬へのキスをする文化や、21～22 時頃から夕食をとる生活習慣など、日本との違いも実際に生活する中で感じることができました。こうした経験から、異なる文化を受け入れ、自分から積極的に関わることの大切さを学びました。

今後の目標や研修参加を検討している方へのアドバイス

今後は、今回の研修で得た「間違いを恐れずに伝える姿勢」を大切にし、スペイン語で自分の考えや気持ちをより詳しく伝えられるよう、語彙や会話力を伸ばしていきたいと考えています。

また、これから研修に参加する人にはスペイン語に自信がなくても積極的に現地の人と話してみることを勧めたいと思います。間違えたり、伝えることに時間がかかっても相手は意外と待ってくれるので、完璧に話そうとせず、身振り手振りなども使いながら自分から伝えようとすることが大切です。せっかく海外で生活できる機会なので、言葉や文化の違いを楽しみながら、積極的に行動してみてほしいと思います。

FERRIS UNIVERSITY











